静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

12月1日月曜日
昭和50年（1975年）

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人 協会理事長堀田哲爾
編集人 サッカーニュース社 二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67－1970清水ゴール
編集専用電話66－5282(代)

昭和49年5月1日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行 1部20円

PEPSI

ペプシ杯県少年団大会

すべての力をチームのために

清水地区予選の組合わせ決まる

第八回静岡県サッカー少年団大会は来年二月沼津市で行われるが清水代表三チームの予選組合わせが決まった。

市のリーグの上位を中心に今年は第四次リーグまで予選会を行う。

Aブロックは庵原と有度一の両チームの争いで第三次リーグまでは両チーム以外に考えられない。

Bブロックは江尻、入江、西河内の三つ巴。

有度招待サッカーでは好試合をした入江も調子が良い時と悪い時の差が大きく第一戦の対西河内戦のできで決まりそう。

江尻もや、バランスに欠けているが入江とタイプがにており入江、江尻の対戦は好試合が予想される。

Cブロックには有度二、小島、清水が入っている。有度二は強いといわれながらもリーグでは不二見戦に失敗、ついに調子をとりもどせなかっただけに県大会への意気ごみはすごい。

ここでは小島と清水との二位争いが焦点となろう。最近めきめき力をつけてきた清水に分があるが五年生中心のチームだけにまだ不安定。

Dブロックには不二見、辻、三保一がいる。不二見の望月、辻の後藤、三保の佐野とスーパースターの三人が同ブロックでしのぎをけずる試合となろう。

この場合、どのチームがこのエースを生かすプレーをするかが問題。その点では不二見と辻が有利だろう。

結局第三次リーグには有度一、入江、有度二、不二見、庵原、江尻、辻、清水、三保一、西河内の十チームから出ることはまちがいなかろう。

第三次と第四次がお正月すぎになることからも最終ベスト3のチームは全く予想がつかない。

しいていうならば有度二、辻、不二見、庵原に有度一と三保一、清水がどう挑むかにかかっているだろう。

近年にない代表予想のつきにくい年である。

第8回静岡県サッカー少年団大会清水市予選

1次リーグ 〈興津会場〉

組	月日	対戦相手	時間
甲	11／29土	興津－和田島	14：00～
	〃	浜田－岡	15：00～
	11／30日	興津－浜田	10：00～
	〃	和田島－岡	11：00～
	〃	興津－岡	13：00～
	〃	和田島－浜田	14：00～

〈高部会場〉

組	月日	対戦相手	時間
乙	11／29土	飯田－高部	13：30～
	〃	東海－袖師	14：20～
	〃	高部－小河内	15：10～
	11／30日	袖師－小河内	9：00～
	〃	飯田－東海	9：50～
	〃	高部－袖師	10：40～
	〃	小河内－飯田	11：30～
	〃	東海－高部	12：20～
	〃	飯田－袖師	13：10～
	〃	東海－小河内	14：00～

2次リーグ A〈有度一会場〉

12／13土	庵原－乙1位	14：00～
〃	有一－甲2位	15：00～
12／14日	有一－乙1位	10：00～
〃	庵原－甲2位	11：00～
〃	乙1－甲2位	13：00～
	庵原－有一	14：00～

C〈清水会場〉

12／13土	小島－清水	14：00～
〃	有二－乙2位	15：00～
12／14日	有二－清水	10：00～
〃	小島－乙2位	11：00～
〃	清水－乙2位	13：00～
〃	小島－有二	14：00～

B〈入江会場〉

12／13土	江尻－西河内	14：00～
〃	入江－甲1位	15：00～
12／14日	入江－西河内	10：00～
〃	江尻－甲1位	11：00～
〃	西河内－甲1	13：00～
〃	江尻－入江	14：00～

D〈辻会場〉

12／13土	辻－三保一	14：00～
〃	不二見－乙3位	15：00～
12／14日	不二見－三保一	10：00～
〃	辻－乙3位	11：00～
〃	三保一－乙3位	13：00～
〃	辻－不二見	14：00～

3次リーグ

		E 清水小会場	F 有度一会場
12／20土	14：00～	A1位－B2位	B1位－A2位
〃	15：00～	C1位－D2位	D1位－C2位
12／21日	10：00～	C1位－B2位	D1位－A2位
〃	11：00～	A1位－D2位	B1位－C2位
〃	13：00～	B2位－D2位	A2位－C2位
〃	14：00～	A1位－C1位	B1位－D1位

決勝リーグ 〈清水小会場〉

1／6火	10：00～	E1位－F2位
〃	11：00～	F1位－E2位
〃	13：00～	F1位－F2位
〃	14：00～	E1位－E2位
1／7水	10：00～	E2位－F2位
〃	11：00～	E1位－F1位

ヨーロッパ遠征記録④

初戦に大勝利

総監督 堀田哲爾

ビクトリア04のホームグランドにつくまでは、前日の練習およびその後の状態を考えると、彼らの精神状態および行動は地ごくの中をさまようかのように見えた。

眼には光がなく、動作はかんまんで、われわれは長い時間と多額の経費をかけて何をしに来たかということを忘れ、悪夢の中にただようかのように、だらしなく、ぜいたくにわがままの中に自分を沈めて戦う意志をなくしたにあった。

しかしながら夕食後のミーティングにおいて、監督はじめそれぞれのコーチよりはげしい批判とその失心状態をきびしくつかれ、食後の自主トレーニングにおいてはや、自分をとりもどそうとする意欲を見せた。

当日朝、彼らは六時起床の予定を五時に起床、それぞれ前庭広場で自主トレーニングにはげみ、朝食での眼は昨日とは見ちがえるものを見た。

食後メンバーの発表と短い指示を与える。九時宿舎出発、九時三〇分着、練習三〇分。（ドリブル、かべパス、シュート、ヘディング、ボレーシュート）十時試合開始、キックオフ清水。

キックオフ佐野から後藤。後藤そのままドリブルで一人二人とかわし再び佐野につなぎシュートは失敗。

そのまま敵陣内でゲームが続けられ、前半3分、左ハーフより右ウイング小沢へクラスパスを小沢中央に走る佐野につなぎそのままゲット。早くも一点をとる。

続いて5分、左コーナーキックを柴田がキック。ダイレクトヘッドで後藤が得点。7分10分、右からのゴール前クルスボールを反町続けて2得点。13分、佐野（達）フルバックから達也にショートパス、オーバーラップを右にかけるが、パスを受けた望月（達）そのまま中央をドリブルでぬきさり5点目。

17分、佐野（達）再びオーバーラップ。中盤でかべパスを一度使いそのままドリブルでふり切って前半6点目をゲット。途中柴田左足首をねんざしたため青島に交替。

前半イレブンは昨日と打って変わった闘志とわれわれはドイツのゴールを目ざしてきたのだという夢と、自分のからだで、頭で、たましいで行うしかない。他の何物もないということ、失敗をどうしようと考えることでなくただくり返すのみ、その中で自分の最善の道を見出すことだという指示をよく理解し、一人一人が非常に自己に忠実に、そして仲間の強い信頼の中で残ったといえる。

後半2分、右サイド小沢から後藤、後藤から佐野へのセンターリングをそのままボレーシュートする見事な得点は清水のサッカーそのものとまのあたりに見せつけるプレーであった。

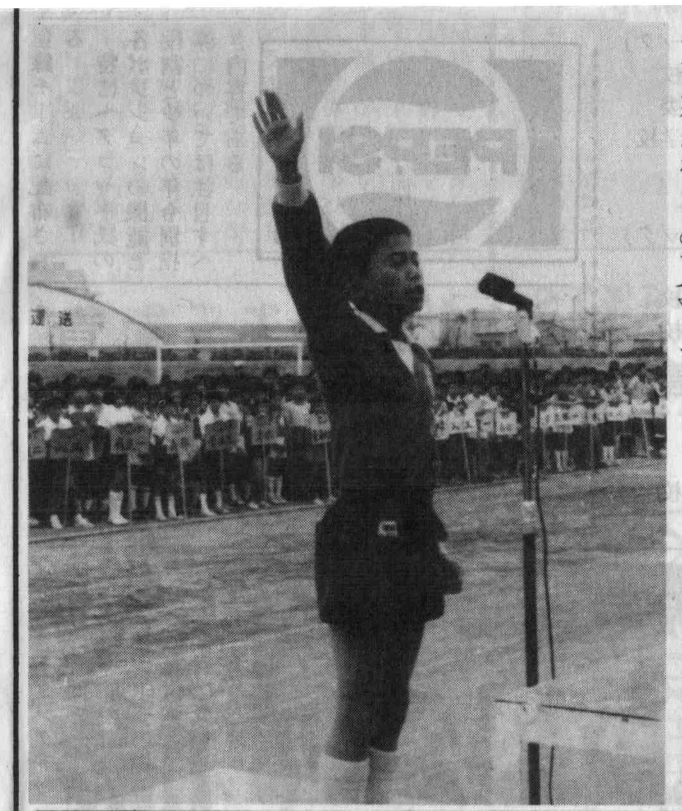
相手チームにとってはただあぜんとする場面のみで、キーパーの闘志とドリブルにヨーロッパらしいへんりんを少し見せたのみで、清水の力を示して40分はまたたく間に経過してしまった。

このことが日本のこれからのサッカーにどのような意味をもち、歴史を作っていくかということなど夢にも思うことなく、ただサッカーに打ちこんで自分を生かしたという満足な顔をそこに見た一日であった。

結果的には8対0、そして中学生は10点を入れて大勝し、明日行われる第二戦に心理的にも大きく有利となってきた。

第3回清水招待少年サッカー

参加チーム発表！



十二月二十六日、二十七日、二十八日の三日間で行われる第三回全国少年サッカー招待試合清水大会の参加チームの組合わせが、このたび決定、清水サッカー協会より発表となった。

大会は四ブロックに分かれ行われるものであるが、第一日目と二日目がリーグ戦。最終日が決勝トーナメントで行われる。

▽Aブロック
全清水六年 京都紫
湯田 富士宮
▽Bブロック
全清水五年B
全浜松 刈谷 浦和
▽Cブロック
全清水五年A 広島
静岡 藤沢
▽Dブロック
全清水四年 全藤枝
神戸FC 名古屋昭和

以上の十六チーム

最終日はABの各一位、CDの各一位により準決勝、その勝者により決勝が行われる。

JC大会は学年別に

毎年正月行われるJC大会は、今年は学年別に行うべく現在要項を作成している。

今まではチャイルドの部でも二年と幼児が同時に出場していたが、年令差があり、本年からは学年別と決定。

一月十日、十一日、十五日、十七日、十八日、二十四日、二十五日の七日間で行う。

出場〆切は十二月十五日。

清水少年リーグ 各校のレベル向上！

本年度少年サッカーリーグは九十一チームの参加の中で、一年生から六年生まではつらつとしたプレーを約半年にかけ展開したが、リーグ終了にともない総括的にリーグを反省してみたい。

一般的に今までは六年代表チームの強いチームは全学年に強化されていたが、本年度の特色として学年別強化の傾向にあり、二タイトル以上取ったのは有度一のみであとは全てワンタイトルであったことも清水市内のレベルが全体的に向上したといえる。

六年の部

東の庵原は久しぶりの優勝。昨年は西にいて本年度より東につり、東での初優勝ともいえる。

西の不二見も望月リーダーによる好試合を展開し完勝したのは見事。常勝の辻が今年はさびしかった。有二も不二見戦に不調の時期をあてておしい星を落とした。全般的に失点が少なくなって来たが特に不二見の失点0はすばらしい。

五年の部

辻、有一、清水の三強が目についた。入江もすばらしい力を持っているがゲームの運びを失敗、三位にあまんじた。

岡の二勝は大きい。今後に期待できる。

小河内も好チームである。まじめに走り、まじめにプレーする姿は好感がもてる。

四年の部

西の浜田、東の袖師がともに初優勝。一戦一戦をていねいに戦ってきた成果である。有二もテクニックでは最高のチーム。二年後にはおそらくチャンピオンチームになるであろう。

一つのプレーをいま大切にしておくことこそゲームに勝つこと以上に大切であることを立証してほしいチームカラーをもっていた。

三保一も好感のもてるチーム。

三年の部

有一、有二、江尻の三強は見事なプレーをした。

チームプレーよりも個人のもっている個性を多く出してほしい年令であり、勝負にこだわり、タテパスのみに走りがちなチームが多い中で、この三チームは安定したプレーで将来が楽しみ。

チャイルドの部

勝負は別として楽しそうなゲームが多く、今後も大いにやるべし。この部では大人の声が多すぎるように思う。

女子の部

入江の優勝は見事。失点が0だったことは特によい。GKがシュートする場面もあり、優勝に余裕を感じた。

江尻がきけんしたことは大変いかんに思う。今後の反省をうながしたい。

女子ジュニアの部

チャイルドと同様、サッカーの楽しさを味わうゲームが多くみられてよかった。

国体に優勝して

静岡県高校選手コーチ
清水東高校 勝沢要

優勝という至上命令を受け、われわれ三人の指導陣が決定したのが七月十三日。それ以来、優勝した日の十月三十一日までの約三ヵ月半、多くの感動を彼等と一緒に胸に残すことができたことを心から喜びたい。

今年のチームの特徴として
①二トップという流動的なサッカーを消化し得る選手が多かった。
②CK、FKなどのスタートプレーの得点が上手であった。
③お互いに気ごころの知れた選手で、グランド以外のチームワークが抜群によかった。
④従来の雨に弱いサッカーから脱皮した技術、体力、戦術眼の強さ、良さがあった。
⑤失点の非常に少ないチームであった。
などが考えられる。

国体はどこの県も同じ選抜方式で来る以上寄せ集め選手の特徴を引き出し、いかに十五人の士気を高めるかが優勝へのカギであることを、われわれ三人は常に考えていた。

そして過去の静岡の国体選抜史上どの年にも負けない、苦しい練習を課した。

静岡高校のGK大石君はきつい練習に耐えかねて何度も夜逃げをしようと思ったとあとで杉田先生にもらしていた。

三重の国体でわれわれコーチ陣が何度も聞かれたことは「なぜ藤枝東高の選手がチームの中に入っていないのですか」ということだった。

確かに過去に全国優勝何回も経験のある日本一の名門校から国体史上初めて選手がでていなかったことは、大きなニュースであったのだろう。

しかしわれわれは異口同音に「選手の選抜の段階で、何の偏見も持っていません。これなら全国で優勝できるという選手十五人をわれわれが胸を張って選んだ。たまたまその中には藤枝東の選手が一人もいなかっただけのことです。」と事実をありのままにのべた。

しかし、それだけ強いイメージで残っている藤枝東の伝統の力をまざまざと感じさせられました。

二年ぶり四回目の優勝！ そのうえ三種別総合優勝

国体では一回戦、コチコチに硬くなって宮崎に2対0、二回戦は大阪を破って意気あがる宮城に5対1、三回戦は今大会屈指のGKを持つ広島にタイアップ寸前のGKで勝ち、準決勝対東京戦では静岡のGK大石の好守でPKを0で防いで勝ち、決勝戦の兵庫は前半の優位も点を取れず除々にカウンターを狙う兵庫ペースになりながらも、34分内山のパスを吉田が決めて、千葉以来二年ぶり四回目の優勝を成しとげることができ、しかも三種別のうち単独出場の静岡が総合優勝というおまけまでついて、予想もしなかったことだけに本当にうれしかった。

優勝は選手だけのものではない 激励にうれし涙！

十八名から十五名になって選抜にもれた栗田、池田の両君からもらった決勝戦前夜の激励の電報、痛むアキレス腱手術後の体で毎日電報を打ち続けてくださった浜名の美和先生そして『キヨウノヒトコト』といって必ず大笑いする電報を打ち続けてくれて、ミーティング後の緊張をほぐしてくれたある高校のサッカー部員たちなど、楽しい想い出も多かった。

井田監督の情熱は選手を引っ張ってくれ、杉田コーチの豊富な体験からにじみ出た冷静なアドバイスはチームに知性を引き出してくれた。

清水の堀田先生は過去の体験から、勝ち進むほど苦しくなる台所を心配して清水工業高校の望月先生に託して清水の名氏をかけずりまわって軍資金を調達してくれた。

そして今回私たちが最も感動したことは、たった一回、しかも対宮城戦の後半の18分しか出場できなかった浜名高のGK柴田君が、勝利と同時に他の選手と一緒に男泣きし、さらに彼を他の十四人が胴あげをして、彼の労に報いたことであった。

この瞬間、私は本当に優勝することのできた最も大きな『もの』を見ることができたような気がした。

十五人の選手よ、本当にご苦労さん！そして彼等の支えになってくださった多くの人々に、本当に心からありがとうを申し上げたい。

PEPSI

市体協主催

少年サッカー教室に90名

日本体育協会、市体育協会共催による少年スポーツ教室開催にあたり、清水市ではサッカーの三種別に九十名の開校となった。

市サッカー協会により五十一年全清水、中一全清水、中二全清水の三種別教室が開かれる。

三月までの三十時間内容は技術向上が中心。になる。

ナンバーワンブックに全清水登場！

十一月一日発刊されたナンバーワンブック『実践サッカーナンバーワン』（フレーベル館）に全清水が登場している。

清水のサッカー組織から練習のようすまでがでている『これが全清水だ！』

岡野俊一郎氏監修の本で定価は四八〇円。

編集ノート

九月末から頒布を始めたユースサッカー縮刷版をサッカーマガジン社が誌上で紹介してくれたお蔭で、十一月に入って全国各地からの購読申込みが来るようになった。北は東北、南は九州と、始めて書く郵便番号がほとんどであることにもサッカー人口の広がりが感じ取れる。今日も清水のサッカーが縮刷版で全国各地を訪れている◆この国の十二月は常にあわただしい。三年前は師走選挙、一昨年はオイルショックと汚染魚さわぎ、去年は金脈問題での内閣交替、そして恒例の公労協ストがある。不況のせいか町の大衆酒場の忘年会も今年は予約が少ないというのに、正月休みに海外へ旅行する人は年々増加しているという。ローンやクレジット利用でのヨーロッパ観光も多いとか、首をかしげるのは筆者だけだろうか◆よい年をどうぞ。

（二本木）

高校サッカー県予選決勝

静岡工業初優勝！

清水東は準決で敗退

五十年度全国高校サッカー選手権県予選決勝は十一月二十二日、県営草薙球技場で行われ、静岡工が2―1で浜名を破り初優勝、全国大会に初出場することになった。同大会は正月早々、大阪にて行われる。

静岡工　2（1―0 / 1―1）1　浜名

全国的組織づくり目ざして

全国少年指導者養成講習会開会！

日本サッカー協会ユース委員会が中心になって計画された全国少年指導者養成講習会は少年サッカー組織づくりに指導法の向上を目的に五十年度全国四ヵ所で開会される。

現在のところはっきり日程のわかっているのは

十二月二十六日〜三十日　岐阜
一月十一日〜十五日　茨城

の二ヵ所。九州、中国地区は三月の予定。

指導者づくりはもちろんであるが、これらのスクールによって少年サッカーの基本的なベースづくりと、全国的組織づくりがねらい。技術面でも全日本につながる少年指導を考え技術委員が担当する。

全国の少年サッカー指導者から大いに期待されている一大行事である。

少年サッカーとチームプレー

悲しんだ時を思い出せ

ドイツの町には、リバイバルというか昔のものを大切にする気風が流れあふれている。その中にヒットラーの声とか、ベルリンオリンピックの特集などがレコードとなって売られていた。またスポーツの世界でもその音を記録したり、写真や絵にしているのが目立ったが、大変すばらしいことだと思い一枚のスポーツの歴史のレコードを聞かせてもらった。

さしずめ日本なら『前畑ガンバレ』の勝った時のレコードが多いので、当然ベルリンオリンピック大会で金メダルの最も多かったドイツの勝利のレコードだと思ったら、その予想は完全にちがっていた。

四〇〇メートルリレー女子決勝でドイツチームが第三走者から第四走者にバトンがわたされ、二位のチームを五メートル引きはなしゴールの寸前にバトンを落とし、観衆が一しゅんにして喜びから悲しみに打ちのめされる場面のレコードであった。

そして同じく一〇〇メートル男子でも、アメリカ代表の黒人オーエンスが世界新記録で優勝し、白人全てが黒人に初めて敗けた場面を録音してあるのである。

その録音を聞いてしばらくして、ハノーバのハットマン氏から映画を見ないかと誘われたので、ぜひドイツのワールドカップに関する資料となるフィルムをお願いしたいといったら、早速見せてくれたのが、ロンドン大会の決勝でドイツの敗けたあの悲しい試合であった。

この二つの事柄から見て、ドイツ人が第一次大戦で敗け、そして第二次大戦でも敗けても益々大国としての誇りを持ちつづけている精神的強さを強く感じた。

日本人は敗戦と同時に大和魂を失い、アメリカかぶれになり、外人コンプレックスのかたまりとなったが、それはいまだに東京オリンピックハイライトのレコードを聞いても勝った場面、良かった所だけをピックアップして想い出としているからであろう。

われわれも敗けた時を忘れない、そのくやしさを記録して堂々としていられるスポーツマンになりたいものである。

勝った時だけを想い出し良い想い出だといっているうちは本当の人間性が育っていない時である。　（哲）

アンケートまとまる！

少年団活動内容から練習内容まで

日本サッカー協会技術委員会小中委員会で調査中であった全国少年サッカー技術指導アンケートがまとまり発行された。

内容は全国小中少年団の活動内容から練習内容まで記入されているもので、今後のサッカー指導の方向を示すものとして注目されている。

なお小中委員会では五十一年度に全国少年サッカー指導の基本線を出す計画である。

研究員メンバーは日本サッカー協会より長沼、平木両氏をはじめ三菱の塩谷氏、国大の大沢氏、ヤマハの杉山隆一氏、名古屋の水野氏、神戸FCの黒田氏、京都の藤田氏、永大の塩沢氏、愛媛大の田中氏、広島の浜本氏、そして委員長の堀田氏の十二名で構成され、今後の研究内容が期待されている。

東海少年サッカー選手権

今年も清水と藤枝！

第六回東海四県少年サッカー大会静岡県予選会は十一月九日、沼津市で行われたが、志太を3対1、浜松を7対1で破った全清水と静岡を3対2、榛原を3対0で破った藤枝の両チームが六年連続して出場する。

本大会では第一回、第二回、第五回の三回優勝した清水、第四回大会優勝した藤枝と、本大会でも常に上位独占の本県代表は今年も期待できそう。

この大会決勝が静岡県同志でないのは三回大会だけ。

このときは三重四日市が優勝している。

全中杯　全清水に！

全国選抜少年サッカー刈谷大会

十一月二日、三日に行われた刈谷招待サッカーは全国の少年サッカーの強者チームばかり十二チームが参加。前刈谷FC会長全中杯を争ったが、甲府湯田を3対1、地元刈谷を同じく3対1、決勝で藤枝を4対0で破った全清水が優勝した。

特にパスワークと個人技のミックスされたトータルサッカーの完成を思わせる芸術的チームとの評価さえあった。なお全中杯は高さ一メートル二十センチの大トロフィー。

清水市民大会中学の部

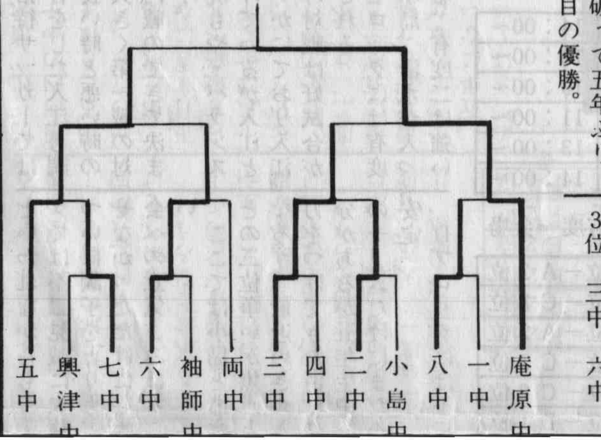
庵原中が優勝！

十一月九日行われた清水市民大会中学生の部決勝は、庵原中が五中を破って五年ぶり、六回目の優勝。

結果は次のとおり。

優勝　庵原中
2位　五中
3位　三中　六中

市民大会中学サッカー新人戦



第7回

県教職員大会

組合わせ決まる

県下教職員サッカー大会も七回目をむかえ今までに優勝チームも清水工業や自工をはじめ、二回連続のチームもなく全く力が伯仲。

今年も四十二チームの参加があり、組合わせは次のとおり。

全国コーチ研修会

ヘダコット氏

報告書まとまる

昨年宇都宮、名古屋、広島の三ヶ所における西独ナショナルチームコーチ、カールハインツ・ヘダコット氏の全国コーチ研修会の報告書がこのたび静岡県サッカー協会技術委員会の手でまとめられた。

技術指導から74ワールドカップの解説まで全文三十ページのものであるが、読みでのある内容で、今回県内の登録チームに配布される。

特にヘダコット氏の各ポジションの機能と役割と少年の年令別指導については注目すべき内容である。

PEPSI

育成会リーグ発足！

市民大会で好評だった育成会大会はその後有志からの要請もあり清水サッカー協会はリーグ戦にふみ切り、十二月より発足することになった。

特に育成会リーグ戦では、ゲーム前の二十分をウォーミングアップ指導の時間として特設し、指導法の研究をかね公認コーチの指導のもとに義務づけすることになった。

要項は次のとおり。

清水市コーチングスクール12月1日に開校！

五十年度コーチングスクールは十二月一日より行われるが、今回の主任コーチに望月保次氏が決定。

内容もコーチング法を中心に行われることになった。

内容および指導者は次のとおり。

清水市サッカーコーチングスクール

主　催	清水サッカー協会　静岡県少年団育成協議会 静岡県コーチャーズアソシエイション
会　場	清水市立第一中学校ナイター施設 清水市立辻小学校体育館
期　間	昭和50年12月1日より毎週月曜日 30週・30回
人　員	少年指導者をめざす者　30名
指導責任者	堀田哲爾
指導主任コーチ	望月保次
指導者	勝沢　要　鈴木石根　小花公生 狩野　茂　浄見元紹　望月英夫 杉山茂樹
記録・出席	鈴木　淳　神谷
会場・施設	塚本哲男　弓場常勝

月	日	講義	講師	実技	講師
12	1	少年指導の基本的ベース	堀田	技術1	狩野
	8	コーチング法	鈴木	〃2	〃
	15	〃	〃	〃3	〃
	22	〃	小花	〃4	〃
1	12	〃	〃	〃5	〃
	19	サッカーの歴史	英夫	〃6	〃
	26	〃	〃	〃7	〃
2	2	ルールの心	堀田	TP1	〃
	9	ルール	杉山	〃2	〃
	16	〃	〃	戦術1	勝沢
	23	〃	〃	〃2	〃
3	1	戦術と作戦	勝沢	〃3	〃
	8	〃	〃	〃4	〃
	15	〃	〃	〃5	〃
	22	〃	〃	〃6	〃
	29	〃	〃	〃7	〃
4	12	コーチング法	狩野	TP3	〃
	19	〃	〃	〃4	〃
	26	コーチング法	保次	体力1	英夫
5	3	〃	〃	〃2	〃
	10	〃	浄見	戦術8	保次
	17	〃	〃	〃9	〃
	24	救急法	保次	〃10	〃
	31	〃	〃	〃11	
6	7	コーチング法	勝沢	〃12	
	14	〃	〃	〃13	
	21	少年心理	堀田	〃14	
	28	〃	〃	TP5	
7	5	組織と運営	〃	〃6	
	12	閉校式			

’74 ワールドカップ

報告FIFA　V

〔西ドイツにおける運営〕

ほとんどのナショナルコーチは彼等の宿舎について完全に満足をしていた。満足しなかった国は自分の国の協会が，自らとり決めた宿舎に泊ったところであった。

スポーツスクールに滞在したチームは，サッカーチームにとって理想的なコンディションであることを知った。

それに隣接したインドアとアウトドアのトレーニング設備をもっていることにあった。また全ての協会役員たちは，ホテルやセンターの配慮に満足していた。

トレーニングのコンディションはほとんど満足に近いものであったし，しばしば練習グランドを選択することさえできた。西独の各地区協会のセンターの役員の友好的もてなしが特に賞讃された。

いくつかのチームは，西独のクラブチームが練習相手になってくれたことで彼等と非常な友情と親善が深められたことに感謝をしていた。

気温，天候についてはよく知られている問題である。いく人かのプレーヤーは，湿度の多いコンディションに適応できないし，ほかにも暑かったり，乾燥しすぎたりするとベストになれないプレーヤーがいる。

この気候コンディションがヨーロッパと南米のプレーのスタイルに，より影響を及ぼしているとさえいえよう。

長い期間の大会そのものも障害となるプレーヤーはいくつかの犠牲の必要性を承知している。

しかし幾国間もの集中的なサッカーの試合，ホテル，スポーツセンターでの孤立した生活は非常に苦痛のはずである。いく人かのプレーヤーの志気は逆に彼等の家庭，家族，友人から分離された状態におかれるときに強くなるものである。

もしプレーヤーがトレーニングキャンプでの修道院の長い生活期間になれていなかったら，イライラと憤りが拡大されてくるだろう。

西欧のプレーヤーは特に規則正しくとり決められたトレーニングの訓練スケジュールとキャンプから離れたリラックスした生活とのバランスをよくとれるようである。

チームが成功しているときには個人の困難さや問題の多くは軽減される傾向にある。

一方，チームが悪い状態で，また試合に負けたときには，プレーヤーはより神経質になりやすいものである。退屈さも問題であり，チームは息抜きの機会も必要とし宿舎やセンターから離れて，小旅行を行うことなどは歓迎されることである。

ＦＩＦＡの技術委員会は，ＴＶで収録された試合を新しい視聴覚機器を通して見る機会をもったが，センターにあるこの種の視聴覚機器は非常に役立ち，プレーヤーの退屈さからの解放にも助けになるものであった。

トーナメント試合の行われたスタジアムは，異った規模と構造であった。政府と地方自治体の援助により西独サッカー協会はスタジアムを，ワールドカップ試合の必要に見合うようにすべてのスタジアムのグランドを改築した。

第7回静岡県教職員サッカー大会組合わせ

東部地区

〔Aブロック〕	〔Bブロック〕
吉原工業高校	富士高校
吉原第一中学	沼津工高校

中部地区

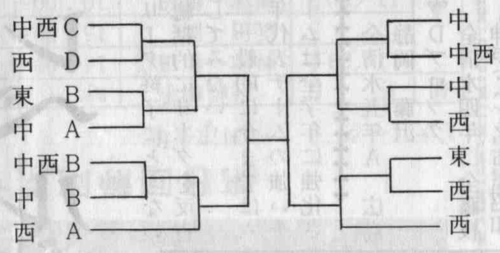
〔Aブロック〕	〔Bブロック〕	〔Cブロック〕	〔Dブロック〕
橘高校	清水商高校	清水東高校	清水南高校
自動車高校	静岡東高校	静岡工高校	県教委
清水工高校	静岡城北高校	聖光学園高校	中央養護学校
静岡高校			

中西部地区

〔Aブロック〕	〔Bブロック〕	〔Cブロック〕	〔Eブロック〕
島田商高校	島田工高校	榛原高校	興誠高校
藤枝北高校	青島中学校	吉田高校	浜松西高校
藤枝東高校	島田高校	焼津中央高校	三ヶ日高校

西部地区

〔Aブロック〕	〔Bブロック〕	〔Cブロック〕	〔Dブロック〕
掛川西高校	浜松農経高校	新居高校	二俣高校
掛川東高校	浜松城北高校	浜松北高校	浜名高校
横須賀高校	浜松南部中学		磐田南高校
中遠工高校			



第1回清水市サッカー少年団育成会親善交歓リーグ戦要項

主催　清水市サッカー協会
主管　清水サッカー少年団育成会

期　日	昭和50年12月～3月　（夜間）
場　所	清水小学校　有度一小学校　高部小学校
目　的	親善第一とし少年サッカー普及のための指導技術習得と健康と体力の増進を目的とする。
参加資格	清水市内の少年団単位の育成会とし，現在少年団活動をしている少年の父母によって組織されたチームで参加項目の守れたチームとする。 チーム編成上，会員以外の者を必要とする場合は40才以上の者または指導スタッフ1名に限るが，資格審査会の許可を必要とし，最大3名以内とする。
運　営	審判およびゲーム準備は当番チームで行うが，参加者資格審査および運営責任は参加ゲーム代表者会議を運営委員会とし，その任にあたる。
表　彰	優勝チーム以外に個人のベストイレブンを選出し表彰する。
参加料	電気料等の必要なものは参加チームで負担するため，1チーム10,000円とする。
その他注意事項	○スパイクはポイントのものは使用してはならないが，ゴムポイントまたはインジェーターシューズは許可。 ○どんな小さなトラブルも禁止する。万一生じた場合は同チームの出場を禁止する。 ○原則的に2週間に1回のゲームとする。 ○白と色のユニホームに同一背番号で常に出場する事。 ○参加者はスポーツ傷害保険に加入のこと。 ○傷害の生じた場合は全て参加者の責任とする。 ○試合前20分のウォーミングアップを義務づける。 ○会場校における注意事項は別にもうける。

只今発売中！
清水サッカーの歴史を綴る！
ユースサッカー
縮刷版
創刊号より第32号まで
B4版
表紙共68頁
郵送の場合は送料共一二〇〇円を現金書留にてお送りください
¥1,000　送料¥200
清水市真砂町1－12読売新聞内
ユースサッカー縮刷版編集部
〒424　電話0543（66）5282